七月廿日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部金貳錢　月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

獨乙へ向ふ（五）

彫刻家本多朝忠氏令妹　藝女出身　本多サノ

（二月廿六日）朝食を七時に濟すと先づ第一にキザのピラミットに急ぐ、我々の自動車はナイル河の長橋を渡ります、音に聞えたナイル河、埃及の文明はこの河に初りました、毎年一定期に氾濫し耕作を豊にし又歴史や天文學、幾何學も發明されたものです、又この河には種々の歴史上の物語りがあります、彼の絶世の妖女王クレオパトラとアントニーとが舟を浮べて長夜の觀樂に耽つたのもこゝです嬰兒のモーゼはこの河の蘆間にかくれてパロ王の虐殺から逃れたのです、等々種々の昔の出來事を追想しながらアカシヤ並木の下坦々たる街路を快走してリビヤ砂漠の一端に連して自動車をすてゝ、駱駝に乘り目指すピラミットに進みました

ピラミットは全部で六十七ケもありますが、今私し等の見るのはギザのピラミットで最大のものです、第四王領クウフ王により建造されたものです。

古代埃及人の奉じた宗教は一種の轉生輪廻説で一度び肉體を離れた靈魂は、再び身體に歸ると信じた結果肉體の保存として木乃伊術が案出され、又宏大な墳墓が考案されました、かくて埃及人は全生涯をあげて自己墳墓建造に孜々營々として貴族富豪は善美を競ひ、又墓場荒し豫防の爲精妙な工夫をし遂にピラミットに至つたのです、ギザのピラミットは三十萬の壯丁が五十五ケ年かゝつて造り上げたもので、帝王が民の膏血を絞り上げて作つたわけです。

ピラミットの驚異は外部許りでなく、内部は更に驚きます、實に一種の迷路です、案内人に導れて帝王の間にくる迄に汗だくになりました。

帝王の間は一大巖窟ですが四壁は光澤のある花崗石で張り詰め、天井から塔迄穴を通じて換氣法があり片隅にはクウフ王の石棺が横つておりますが中はからです、例の墓泰然に保存され、玉のミイラも持出されたと想像されてゐますが、こゝも又例の四の室で眞の帝王の間は未だ發見されないのではないかと云ふ人もあります。

このピラミットの傍にスフインクス、即ち人面獅子像が有ります、このスフインクスは何時何人によつて作られたか不明ですが、紀元前凡四千年の昔すでに存在していたとの事です。

◆○明日の献立○◆

【朝】味噌汁—豆腐　小丼　玉子
【晝】煎り卵の花　むきみ　酢どり
【晩】みぞれ揚　小あぢ　スタッフド　トマト　サラダ

御新盆の御用意下サイ
御戒名入提灯……特製秋草。運花
其他御コノミニ依リ　スソ模様入レ
岐阜提灯各種……
カナラズ良ク安ク御願ヒ致シマス。是非御下命下サイ
平四丁目　スガノヤ提灯店　電95

看護婦急派
求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

御位牌と佛壇佛具
品よく　安い
平新川町
橋本屋
電一六三

新盆用佛壇具ト位牌ハ
山光堂佛具店ヘ
平四丁目局前
造花博士　花信
電話五五〇番
祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!

◎最も理想的な
相互扶助機關◎
□共存共榮自力更生の大策□
中小商工業者の一大福音
石城中小商工互融會生る
融資御希望の方へは
◇十錢の日掛をなし三十日以上の掛金をすれば九十圓の御用立を致します
◇僅か十錢の日積で滿額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します

本會の事業
一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
二、懇談會併精神修養講話會
三、會員の吉凶慶弔
四、人事百般の相談
五、法律無料相談
六、診療救恤の補償
七、納税の代納事務取扱
八、勤儉蓄積の奨勵
九、小資本の融通
一〇、會員の特典
一一、會報發行

◇皆さん御利用を願ひます
相互扶助機關
石城中小商工互融會
福島縣平町搔槌小路一番地

◇製氷あります
アイスクリーム　あづきアイス　ミルクセーキ
クリームソーダ水　氷あづき　ソーダ水色々
冷コーヒー　みつ豆
御土産にクリームもなか
ほどよく香りのよい
宇治名産天ひらめを
初めました。何卒御試食下さる樣……
平三番參号
魚清食堂
電話六三二

増車御披露
陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。
大型貸切專門車も御座います。
尼子タクシー
電話六四

耳鼻
咽喉　科專門
大和田醫院
平町南町一六【電話一七〇番】

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

市街地の地下は絶對に採掘不能

昨報地下採掘に關する陳情委員七名は青沼町長と共に昨日仙臺鑛山監督局に後藤局長を訪問、鑛業課長鑛政課長其他立會の上長時間に亘つて磐炭の採掘許可を延期されたき主旨を陳情し午後九時平着で歸平した尚其際局長の談に依ると『公害地』を設定した場所の地下は地上への惡影響を慮れ何人も採掘する事の出來ぬ規定になつて居る由にて平町の現在市街地を形成して居る區域の大部分は、大正十三年既に『公害地』に編入されて居るから絶對に地下採掘の不能な事が明確となり委員一同も愁眉を開いた由である

來年三月竣工するが更に第二期工事の繼續に關し新妻町長、菅波漁業組合長等は去る廿八日第四回目の陳情に上京運動中であるが町内有志は期成同盟會を組織し近く有志懇談會を開いて運動方針を決定し町當局と共に全面的な運動に乘り出す事になつた

平町の養鶏
餌料が高いので
飼育者年々減少

平町の養鶏調査に依ると雌は三千五百四十羽、此價格二千三百一圓、雄が三十羽で十八圓、雛が二千五百八十羽で千二百九十圓、合計六千百五十羽、三千六百九圓であり是等の鶏が昨年七月から本年六月迄に産んだ卵は實に五十一萬三千三百箇、是の代金一萬一千八百五圓と云ふ相當大きな數字を示して居るが餌料が高く付くので飼育者數は年々減少する傾向があると

軟式庭球練習 東京文理大主催全日本中等學校軟式庭球大會は來月一、二兩日に亘つて全國選り抜きの強豪を網羅して華々しく開催されるが平商、磐中兩校庭球部は去る廿四日上京金門倶樂部コートで一流の指導者のコーチをうけ猛練習を續けてゐる

四倉漁港
第二期工事に町民結束運動

既報四倉漁港第一期工事は

改正選擧法の講演會は明晩

明卅一日午後六時から町會議事堂に開催される筈にて講師は武田清護士其他であると

平町選擧肅正に關する改正選擧法の講演會は

軟式野球
來月十日に

日本軟式野球石城支部主催の濱通第一次豫選大會は來月十日平商、第一、磐中の三球場に於いて開催されるが希望者は八月八日迄に四丁目丸友運動具店に申込まれ度いと尚試合組合の抽籤は來月九日同店樓上で行はれる

低鐵棒の講習 體協石城支部主催の低鐵棒講習會は八月廿二日より三日間平第一小學校で開催されるが講師は本縣體育運動主事千田三省氏並びに東京市淀橋區大久保小學校訓導淺香四郎、石丸午郎の三氏

磐城丸が黑潮觀測
來月九日出帆

去る廿九日歸港した石城丸は船体修理の上八月五日同港出帆太平洋千浬に亘る海洋觀測を行ふ事になつたが同觀測は約一ヶ月間に亘り秋刀魚漁期迄各縣指導船と連絡を取つて實施される

縣參事會員一行
苦熱の出納檢査

縣參事會員十名の一行は甲乙兩班に別れて八月六日より郡下の學校官衙の出納檢査を行ふが檢査日割左の如くである

△甲班松永高之助　佐藤利助　山田六郎　草野三郎　石川德壽(八月六日)平土木監督所　磐中(七日)平署稅務出張所(八日)藤原川改修事務所(九日)小名濱水産試驗場水産講習所(十日)四倉署四倉港修築事務所△乙班渡邊信任　大竹作摩　渡邊鐵太郎　石山俊夫　二瓶謙二(八月六日)夏井川改修事務所　磐女(七日)蠶業取締所(八日)植田署(九日)回春院　久之濱蠶業取締所

武道選手出發 磐中等學校武道大會は來月一日喜多方中學校で擧行されるが磐中、平商兩校武道部は夫々部長引率の下に明卅一日午前八時二十分勇躍出發する

小名濱の野球 小名濱、勿來、泉三小學校及び小名濱築港事務所の野球リーグ戰は去る廿八日小名濱校庭に於いて行はれたが成績左の如くである

内務省12——4小名濱

勿來9——1内務省
勿來9——7小名濱

平町人事

回出生
△堂ノ前瓜生新六氏四女トキ子

回死亡
△紺屋町當時内郷付字濱井場船山義雄(三ツ)さん

▽廣告△

夏は小瀧へ……

◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
(御帶在は左記料金にて中食料をふくませます)
◇日歸浴席料　.20
◇自炊料　.50—.80　入湯料・室料　夜具料一切
◇料理--定食　.80　1.00　1.50　その他一品料理洋食
◇湯効　神經痛・リウマチス・胃腸病・痔疾・婦人病・逆上・中風・肥胖病
(内務省東京衛生試驗所檢定濟)
◇諸設備　撞球臺・高級ラヂオ・大廣間・讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所・小動物園・タクシー部・御子樣運動器具
◇名物　川魚料理(うなぎ・鯉)　蜂密羊かん

常磐線湯本驛　小瀧鑛泉
御旅館　御自炊　瀧の湯
電話　小名濱　103番

食洋
喫茶
宴會
ビフテキ
野菜サラダ
毎度有難うございます
◎女給數名募集
駅前新道通り
コンパル
TEL.666

平・田町
レストラン　サロン
電二五三番

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場

東京短期(本日前場)

	寄付	大引	高値	安値
新東	一三六三	一三七四	一三六一	
大新	八三五	八三九	八三五	
鐘紡	二〇六六	二〇七四	二〇六三	
新鐘	一一七	一一七	一一七	
日紡清	九八七	九九〇	九八七	
帝人	—	六八四	六八五	
レーヨン	六一〇	六一〇	六〇五	
日魯	五七九	五七九	五七一	
北炭	六二一	六二三	六二三	
日鑛	三五九	三五七	三五九	
三菱	一〇九〇	一〇九〇	一〇九五	
日石	三七八	三八一	三七八	
日産	六八九	六九二	六九五	
鋼管	九三九	九四九	九四九	
人肥	四〇一	四〇四	四〇四	
東電	四五六	四五八	四五九	
日電	五四四	五四四	—	
新舟	—	一四九	一四七	
南滿	六三六	—	六三五	
新南滿	二七一	—	二七一	
日糖	五九五	—	五九五	
明糖	—	—	—	
王子	—	一〇六八	一〇六六	
ビール	—	三六五	三六五	
淺野	二三〇	二三三	二二九	

期米

東京

	六月期	七月期	八月期
一節	三〇六九	三〇九九	三〇八三
二節	〃八二	〃九九	〃七八
三節	〃八二	〃八八	〃六六
四節	〃一一	〃一八	〃三〇
五節	〃八二	〃九九	〃三七
六節	〃八一	〃八二	〃三三
七節	〃七八	〃七八	〃三六
八節	〃七五	〃六六	〃三五
九節			〃二八
十節			〃七二

大阪

田町・丸井株式店　四六〇番

毒婦殺し犯人

今曉植田署で問死

猫イラズをのんで居た

▽……湯本町某醫の誤診

醫師殺し犯人として植田署に留置取調中の湯本町天王崎村馬車競小松又郎（四九）は本卅日午前二時頃中毒症狀を起し轉々苦悶して遂に死去した植田町片岡醫師の

診斷に 依れば猫イラズの中毒と判明したが同人は無理情死の際女を扼殺した際既に猫イラズを嚥下して女の後を追はんとしたものらしくたゞ小量の爲め中毒症狀を起すに至らなかつたものにて當時係官は此事に就き特に湯本町某醫師の診斷を求めた處嚥んで居ないとの事に安心し何等の

手當を 施さず植田署に引立て嚴重な取調べの最中顏色蒼白と化し昏睡狀態に陷つたので大いに驚き應急手當を施したが既に其時は遲かつたのであると

暑熱に狂ふ

五十餘尺の斷崖から

飛降りて慘死

小名濱町字西町田口龜雄（五二）は精神に異狀を呈し家人が監視中暑熱に蒸されて病勢激化し昨廿九日午前四時頃監置室を飛出して古港地内の高さ五十餘尺の斷崖から飛降り慘死したと

眞清書道

會長來平

支部發會式

全國各地に支部を有する眞清書道會は平町にも約百名の會員を擁し書道振興に精進を續けてゐたが今回同會々長現愛知縣一宮市立小學校長林棲鶴先生が夏休を利用し明卅一日午後五時四十八分着列車で來平することゝなつたので在平會員は當夜住吉屋本店で座談會を催し尚八月一日午前八時より同先生歡迎會を兼ねて丸トモ樓上に支部發會式を擧げることゝなつたが席上會員の作品審査及先生の講演等ある筈で會員外希望者の出席も歡迎すると、尚支部役員左の如し

△協贊員市原晩岳△支部長辻峯月　幹事宮川龍石　佐々木秋峯

錦村に劇場 既報錦村は人絹工場設立以來急激

夜の綴國道を

聞きなれぬ九州辯

怪しんで警官が捕ふ

大金拐帶の新婚旅行

昨廿九日午後十時頃內鄕村綴地內國道を九州辯の若い男女が徘徊して居るのを平署員が不審に思つて

取調べる と福岡市中島區五足立自轉車店外交員森茂（二四）同町玉突屋ゲーム取り松本ナツエ（一八）の兩名と判明したが兩名は以前より割りない仲となり末は夫婦と固い誓へを結んだ處女の親達が同意せず去る十七日嫌がるナツエを無理に福岡縣庄內村字旭町雜貨商湊茂男に嫁入りさせたので忍かに兩名は諜し合せ男は主人の

取引先から 五百圓を集金横領し女の結婚した四日目に手を取り合つて駈落ちし大いに新婚旅行の氣分を味ひながら內鄕村の知人を頼つて來たのであると

脅喝した揚句に

日當まで捲上ぐ

既報平署の第二次ギャング狩に檢擧された平町白銀町鈴木龜雄（三五）は去月中湯本町面川留喜が高久村志賀末三郎に貸付けた百三十圓の取立を依頼され志賀を脅喝して受取つた百三十圓全部横領した上日當と稱して十三圓を捲き上げて居る外詐欺、横領、潛周旋等の常習犯罪が多數に及ぶらしいと

災害復興謝恩 箕輪村大字大利字表山地內災害地は昨年度匡救工事が完成したので部落有志は工費二百圓で謝恩碑を建立明卅一日午前十時から盛大な除幕式を行ふと

淡島神社宵祭 平町北目町に鎭座する淡島神社は明卅一日宵祭執行餘興には煙火大會浪曲等があると

洋食組合慰安 平町西洋料理業組合では從業員慰安のため來月三日小名濱で海水浴を行ふと

平裁判たより

双葉郡木戸村大字山田濱字後中一五大工松本好次郎（四二）に係る放火事件は今卅日午前九時卅分より平支部で中島裁判長係り香西、小林兩檢事陪席清田檢事立會で公判開廷檢事の求刑懲役五年に對し中島裁判長より同三年の言渡があつた

明日のラジオ

仙台放送局

天氣豫報

今晩も明日も南東の風晴曇半す

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間「漫畫劇」袋千平漫畫劇場
▼後六、二五 ラヂオ體操體驗談
▼後七、三〇 講演「國体の本質を敎ふる國生みの物語」山田孝雄
▼後八、〇〇 獨唱と女聲合唱 明治天皇御製より增永丈夫大阪放送合唱團
▼後八、二〇 マンドリン合奏 オルケストラシンフオニカタケイ
▼後八、四〇 ラヂオドラマ「兒故の春」水谷八重子 梅島昇外大勢
▼後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 英語會話講座
▼前七、〇一 朝の修養「家訓講話」白石正邦
▼前七、四一 敎育特別講座「最近科學の進步」工學博士加茂正雄
▼前一〇、三〇 家庭講座「民間療法」醫學博士加藤寶二郎
▼後〇、〇五 琵琶「川中島」藤井義夫
▼後二、〇〇 婦人の時間「夏を歌へる」茅野雅子
▼後六、〇〇 子供の時間 お話「山の不思議」茂木愼雄
▼後六、二五 夏期特別講座 全國神社巡り「稻荷神社」京大敎授中村直勝
◎東西寄席競べ◎
▼後七、三〇 上野鈴本中繼「七段目」蝶花樓馬ノ助「祇園祭」柱文治「前原伊助」一龍齋貞山「きめんさん」三升家小勝
▼後八、三〇 大阪北新地花月クラブより中繼 漫才「鼻唄キャンピング」宮川美津子と小松月外數種

鐵道弓道大會 平鐵道倶樂部主催の第九回夏季弓道大會及び優勝杯爭奪戰は明卅一日午後三時半から同弓場で開かれると

平職業紹介所報告

回 人を求める方

△出前持　二十迄　尋卒　月五—六圓
△店員　二十才　尋卒　給料面談
△製材見習　十七迄　尋卒　日給三十錢以上
△コック　二十七才　高卒

回 職を求むる方

△雜夫　二十八才　尋卒
△店員　二十才　高卒
△自動車助手　十八才　高卒
△料理人　二十二才　高卒

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古を奬め致します
平町田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話二一七番

明治太平記

（無斷轉載及上演）

（作）寺島柾史
（畫）野口達

第百八十八回

空葛籠（五）

『な、なんとおつしやつてもこんなつゞらの中へなぞ入るのはいやです』

『では、手荒にしますぞ』

『どうぞ、勝手になさい』

おとわは椅子の背にしがみついた。

『離しなしやい』

『……』

おとわは首を振つた。

『よろしい、いまに人足にやつて貰ふ』

ウエルズは手を引いて傍らの椅子にどかと腰をおろした。

かなり長い沈默……。

やがてドアをたゝく音がした。ウエルズは立つていつてドアの鍵の穴をガチヤ〳〵いはした。

『おはいり……』

はいつてきたのはきのふの日本人ふたり、人足の方は麻繩なぞ持つて來た

『おとわしやん、なか〳〵つづらの中へは入りませんたのみます』

ドアに鍵をかけながら彼はうつたへるやうにいつた

『承知しました』

商人風のがつか〳〵とおとわの傍へ寄つた。

それを振拂はうとしたがたうてい抵抗する力がない。

『いやです、死んでも……』

悲鳴をあげる口もとを今度はウエルズはおさへて三人で、しきりにもがくおとわを抱きあげてしまつた。

『しばらくの辛抱です、おとわしやん』

ウエルズはさすがに哀憐をかんじ、やさしくいつてつゞらの中へ入れられたおとわを見入つた。

おとわはもう觀念して眼をつぶつた。

『さあ素直につゞらの中へは入つた方がようがすせ』

おとわの手を執らうとするとそれを振拂つて

『いやです』

美しい眼で睨むだ。

『いやといつたつて、もうに……』

『ふたを、はやく、ふたをして麻繩で縛つてくだしやい』

それを命じてゐるウエルズの耳にとつぜんドアを叩く音が入つた。

『ウエルズの旦那、パークス閣下がおいでになりました』

あきらかに館のボーイの聲だ。

『いけない、はやく、ふたをわたくしあちらへ行つてパークスさんと會つて來ます、ふたを麻繩で嚴重にしてくだしやい』

ウエルズはあわてゝドアの彼方へ立去つた。

彼が立去るとおとわは眼をひらいた。そしてふたをしようとするふたりの日本人に流眼をくれた。

『ね、あんた方』

ふたりの日本人は双方からつづらのふたを持ち上げながら中を覗いた。

『なんだ』

『おまへさんたち、國はどこ？』

『國？　おれア遠州だ』

人足風のがふしぎさうに答へた。

『そんなンぢやないわ、外國人か日本人かときいてゐるのよ』

『日本人だ。みてくれ眼の玉が黑いぞ。』

『そちら』

『おれかゝおれも御同樣だ』

商人風のがおとわの容色に見とれながら答へた。

『蛇に……おつと、とにかくハ見込まれたが最後、じたばたしたつて仕樣がめるまいよ』

人足風のが憎々しげにいつて、

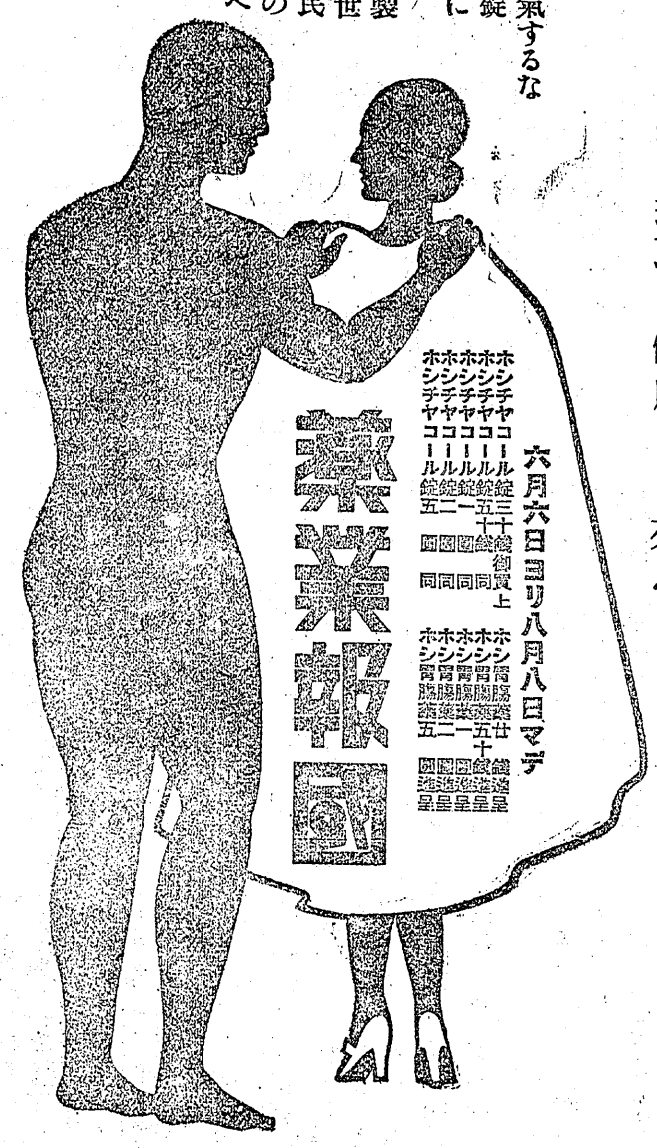
『愚圖々々してゐると邪魔がはいる。はやく處分しようぢやありませんか』

人足は、はやおとわの

同胞よ、斷じて病氣するな斷じて世界一となれ
勇氣、斷行、進取は健康より來る

シボリヌ

此夏は斷じて病氣するな
ホシチヤコール錠
ホシ胃腸藥とに
依つて、
日本を世界一の製藥國たらしめ、世界一の元氣な國民たらしむるホシの藥業報國共鳴者への感謝として



星製藥株式會社
ホシチヤコールストア

贈るに御便利
三井の商品券
受けて重寶な

絶好の御買時

7日間
7月30日ヨリ8月5日マデ

夏衣全店一掃大賣出し

思ひ切つた値段清新なる商品全店に充滿致して居ります
御中元の贈物御仕着せ用品にこの期を撰んで多大の御用命を偏に御願致します。

京染ジヨゼツト　一・八〇
新柄着尺モスリン　二・五〇
紺上等ボイル　一・二〇

◇均一臺一圓。一圓五十錢。二圓◇

三井呉服店
電話三八二四番